

○事業費用

2億4052万円

前年度比1・8%増。

増加の主な要因は、原水及び浄水費の修繕料の増加と配水及び給水費の修繕料の増加、総係費の給料、手当の増加。

当年度は、事業収益、事業費用共に増加となり、損益では5467万円の純利益となった。

認定(全員)

●漁業集落排水事業特別会計

○歳入総額

1037万円

○歳出総額

856万円

引残額、翌年度繰越額共に181万円。

認定(全員)

●農業集落排水事業特別会計

○歳入総額

8472万円

○歳出総額

8196万円

差引残額、翌年度繰越額共に275万円。

認定(全員)

辺地計画の変更と策定

計画の変更

実施予定の町道荷稻鈴線道路改良事業を行う新たな5カ年計画を策定するもの。

馬荷辺地の辺地債予定額増額

●馬荷辺地に係る総合整備計画の変更

今回の計画変更は、本計画期間内の事業費等の変更に伴い、辺地債の予定額を増額するもの。

可決(全員)

計画の策定

鈴・熊野浦辺地総合整備計画を

●鈴・熊野浦辺地に係る総合整備計画の策定

鈴地区と熊野浦地区において、今年度から実施計画の町道成又熊野浦と町道熊ノ浦海岸線の道路改良事業、ヒジロケ谷橋とウタノハ工橋の橋梁改修事業。

また、令和8年度から



中山間に位置する中の川地区。道路沿いにはイノシシなどへの害獣防護柵が(令和6年10月1日)

そうした場合、結果として財政処置などが有利になるが、どう考えるか。

A 渡辺企画調整室長

辺地に該当するためには、人口要件と地理的要件がある。

今回、熊野浦と鈴においての事業計画を受け、人口要件に合うよう両地区を統合した形で、新たな計画を策定した。

中の川など、他の地区にも人口要件などで統合の可能性もある所もある。

この議案は、辺地計画の事業の変更だが、構成する地域の変更が出来るのであれば、隣接の中の川地区も辺地に該当すると思うが、区域を広げるのは難しいことか。

Q 矢野昭三議員

工場所は、残土を入れてある所ではと思うが、この工事を410万円で出来るのかと、予算措置の状況は。

A 河村建設課長

この工事については、成又熊野浦線の言われている箇所になる。この改良する場所が、勾配が急峻で道路構造令に合わず、その方法では出来ないため、現道部分の拡幅を計画したもの。この成又熊野浦線の改良については、地元の熊

また、今回の説明では、平面図などの説明資料が全くない。計画を出す時は少なくとも平面図は必要と思うが、どうか。

野浦と鈴の方にも、地区懇を開催し、意見なども頂いた。その折、現状の未改良箇所の拡幅については了承を頂いている。

このための予算は、当初予算にて措置している。それ以降の県道までの部分については、今のところ改良の予定はない。

要望の、この辺地計画の図面は、総務委員会に追加資料として提出したいと考えている。

うかと思われるが、これには県の事前の承認や協議も必要となっている。今後も、それらも考えながら辺地事業をより有利にうまく活用できるように、工夫しながらやっていきたい。



成又熊野浦線の道路拡幅部。右側は残土を入れている場所(令和6年10月)